

- メール審査時に同一メールを一括で審査できる機能を追加

「審査ルール設定」―「審査メール」のメール審査画面に配送先を一括で審査できる機能を追加いたしました。

※サンプル画面

審査ルール設定 ▼

- 審査メールログ
- ドメイン単位審査
- グループ単位審査
- 審査メール**
- メール処理
- 自己承認メール

バウンスメール 送信 削除 メールヘッダー表示 イメージを表示 戻る

▼ ☐ 配送先 (2)

- ☐ admin@cmpkg.kkim.jp
- ☐ adtest@cmpkg.kkim.jp

マッチした審査ルール: test

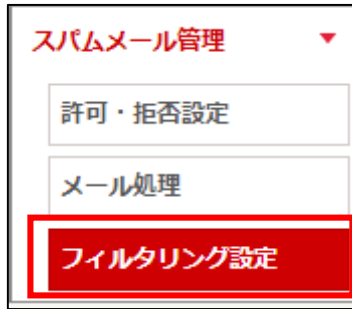
FROM: admin <admin@cm.kkim.jp>
TO: admin <admin@cmpkg.kkim.jp>, adtest <adtest@cmpkg.kkim.jp>
日付: Mon, 02 Mar 2020 13:41:48
件名: [test] test mail
test mail

バウンスメール 送信 削除 メールヘッダー表示 イメージを表示 戻る

● イメージスパム検知機能を追加

「スパムメール管理」―「フィルタリング設定」の画面に「イメージスパムフィルタ」機能を追加いたしました。
任意のドメインから送信されたメールに含まれる画像がイメージスパムの特徴に合致するかをチェックします。

※サンプル画面



SPF 認証:	
<input checked="" type="radio"/> システムデフォルト値	SPF認証が有効の場合、システムはなりすましメール対策としてSPFによる受信メールの認証を行います。
<input type="radio"/> 無効	
<input type="radio"/> 有効 (カスタマイズ)	本設定はメール受信結果に影響を与えます。ご注意ください。
DKIM 認証:	
<input type="radio"/> 無効	DKIM認証が有効の場合、システムはなりすましメール対策としてDKIMによる受信メールの認証を行います。
<input checked="" type="radio"/> 有効	
DMARC 認証:	
<input type="radio"/> 無効	DMARC認証が有効の場合、システムはなりすましメール対策としてDMARCによる受信メールの認証を行います。
<input checked="" type="radio"/> 有効	
イメージスパムフィルタ:	
<input checked="" type="radio"/> システムデフォルト (システムデフォルト: 無効)	イメージスパムフィルタが有効の場合、システムはドメインリストから送信されたメール内のイメージデータをチェックします。イメージスパムと判定された場合、当該メールはスパムメールとして処理されます。
<input type="radio"/> 無効	
<input type="radio"/> 有効	
ドメインリスト	
<div></div>	

機能の説明

- ドメインリスト

送信者ドメインがドメインリストに登録されていた場合、イメージスパムかどうかをチェックします。1 行に 1 ドメイン登録ください。(最大 50 行)

例) test001.test.com

test002.test.com

test003.test.com

● 通知メールのテンプレートを編集できる機能を追加





「通知メール管理」―「通知テンプレート管理」機能を追加いたしました。

以下通知メールのテンプレートを画面上から編集できるようになりました。

- 審査の動作で「バウンスメール」を指定している場合のバウンスメール
- メール審査により隔離された後、バウンス処理が実行された場合のバウンスメール

※サンプル画面



全選択 リストア					検索
<input type="checkbox"/>	テンプレート	説明	設定	編集	リストア
<input type="checkbox"/>	審査バウンス通知	実行動作にバウンスメールを指定した審査ルールで利用されます	デフォルトのテンプレートを利用する(日本語)		
<input type="checkbox"/>	審査隔離後バウンス通知	審査ルールで隔離されたメールに対しバウンス処理を実行した場合に利用されます	デフォルトのテンプレートを利用する(日本語)		
全選択 リストア					

審査バウンス通知

日本語 英語 繁体字中国語 簡体字中国語

設定

☒ デフォルトのテンプレートを利用する

☐ システム設定を利用する (デフォルトのテンプレートを利用する)

☐ カスタマイズ

プレビュー

保存 キャンセル

「日本語」、「英語」、「繁体字中国語」、「簡体字中国語」言語別にテンプレートの設定が可能です。

審査バウンス通知

日本語

英語

繁体字中国語

簡体字中国語

設定

- ☐ デフォルトのテンプレートを利用する
- ☐ システム設定を利用する (デフォルトのテンプレートを利用する)
- ☒ カスタマイズ

件名

本文 (HTML)

B *I* U | | | |

本文 (テキスト)

HTMLからコピーする

プレビュー

- **BEC 保護管理メニューUI 変更**

「BEC 保護管理」―「BEC 保護ルール設定」を以下に変更いたしました。

※サンプル画面



- **ソーシャルエンジニアリング保護機能を追加**

「高度な脅威保護管理」へソーシャルエンジニアリング保護機能を追加いたしました。

受信メールに含まれる URL を受信者がクリックした際に、危険な URL として検知された場合、サイトへの接続をブロックします。

※クリック時は Web of Trust、Cyren、URLBW、URIBL のフィルタでチェックします。

※サンプル画面



「ソーシャルエンジニアリング保護ポリシー」の画面です。

URL防衛ポリシー バイパスポリシー

設定

- システムデフォルト (システムデフォルト: 無効)
- 無効
- 有効

URL書き換え設定

- ☐ メール本文のURLを書き換える
 - ☐ テキスト ☐ HTML
- ☐ 添付ファイル内のURLを書き換える
 - ☐ テキスト ☐ HTML
- ☐ バイパスポリシーを適用
- ☐ URLの接続先を表示する

URLクリック時動作

- 許可
- 警告
- ブロック

警告ページホスト名

- デフォルト: (mgkim.cybercloud.jp)
- カスタマイズ:

保存 キャンセル

各機能の説明

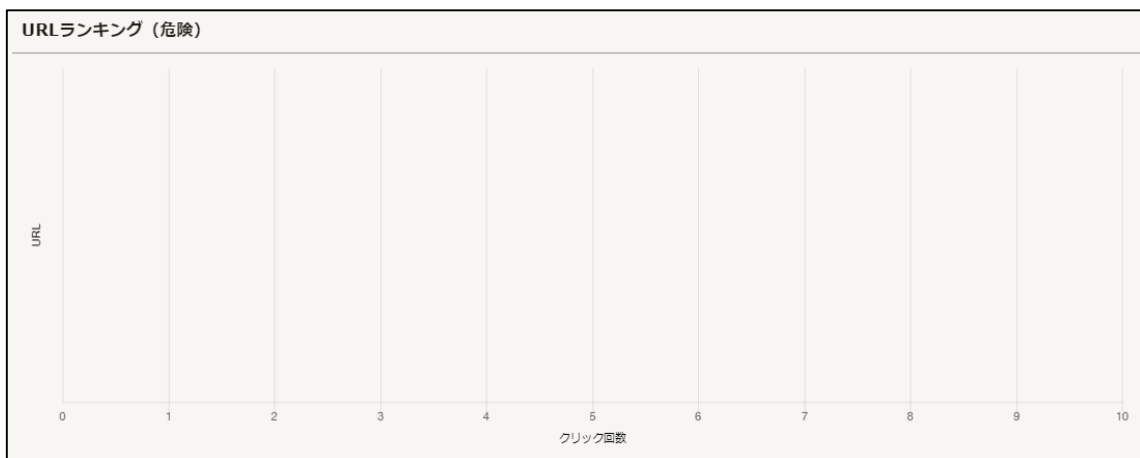
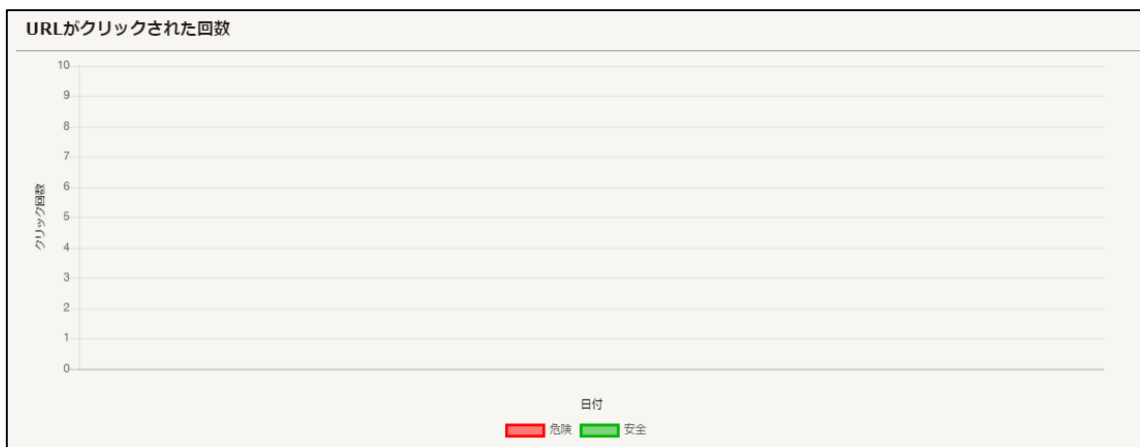
- メール本文の URL を書き換える
メール本文内 テキスト/HTML パートの URL を書き換えます。
- 添付ファイル内の URL を書き換える
TXT/HTML ファイルが添付されている場合、ファイル内の URL を書き換えます。
- バイパスポリシーを適用
バイパスポリシーに合致する URL は書き換えが行われません。
- URL の接続先を表示する
メールにリンクの接続先を表示します。
- URL クリック時動作
受信者が書き換えられた URL をクリックした際の動作を選択します。
- 許可
ユーザは全ての接続先にアクセス可能です。
- 警告
接続先が危険と判断された場合、警告ページを表示します。警告ページには接続先へのアクセスボタンが表示されます。
- ブロック
接続先が危険と判断された場合、警告ページを表示します。警告ページには接続先へのアクセスボタンが表示されません。
- 警告ページホスト名
警告ページのホスト名を設定します。

「パスポリシー」の画面です。書き換え不要のドメインを指定します。

「ソーシャルエンジニアリング保護ログ」の画面です。

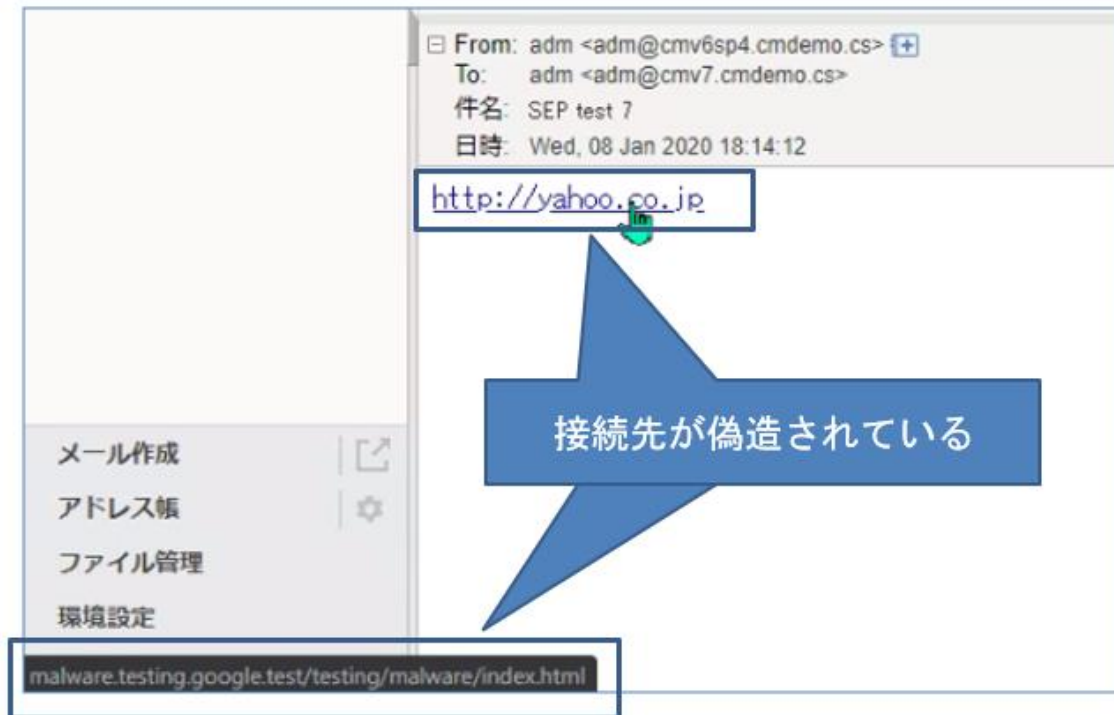
- 悪意のある URL
前段のスパムフィルタで安全ではないと判定された URL です。
- バイパスポリシー
書き換えられなかった URL です。
- URL 防御ポリシー
書き換えられた URL です。

「ソーシャルエンジニアリング保護統計」の画面です。



※動作例

受信メール：オリジナルメール



受信メール：機能有効時



一般ユーザに見える画面（書き換えられた URL クリック時）

■分析画面



■安全ページ（3 秒後、リダイレクト）



■警告ページ



■ブロックページ



● IP ホワイトリスト、許可送信者プロセス変更

<変更前>

管理者、ユーザ権限の IP ホワイトリスト、許可送信者にて登録されている送信者が SPF, DKIM, DMARC 等の認証処理に失敗した場合メール受信不可。

<変更後>

管理者、ユーザ権限の IP ホワイトリスト、許可送信者にて登録されている送信者は SPF, DKIM, DMARC 等の認証処理に失敗されてもメール受信可能。
(IP ホワイトリスト、許可送信者の設定が優先的に反映されます。)